

大阪歯科大学 兵庫県校友会報

No 21
発行所 神戸市生田区山本通 5丁目41
編集発行人 村井俊郎
電話 8337~9

本年度定時総会開催

救ライ寄付は健保から

大歯兵庫県校友会の四十年定時総会は五月九日(日曜日)午後一時から兵庫会館で開かれた。

磯島理事の司会で馬場副会長の開会の辞で始まり議長に名田副会長が指名された。ついで、物故会員の黙禱のあと、奥野会長のあいさつがあり、議事録署名人に一ツ町(兵庫)、木村(灘)両氏が選ばれた。

次に庶務報告を内海理事、学術部報告を永津理事、会計報告を溝井理事、監査報告を徳永監事、本部報告を磯島理事がそれぞれ行った。

次に議事に入り、第一号議案昭和三十八年度歳入歳出の決算を求める件、第二号議案昭和四十年事業計画に関する件、第三号議案昭和四十年歳入歳出予算案に関する件をいづれも原案通り可決した。続いて役員改選(会長、監事)に関する件を上程、万場一致で奥野半蔵氏を会長に、徳永明、津島大麓両氏を監事に選出した。最後に第五号議案母校救ライ奉仕団寄付

に関する件を上程、全員一口三百円を拠出することに決定した。

以上で議事を終り、協議事項に入り、昭和四十年度交歓旅行会の開催について、当番分会の松本清氏(尼崎分会長)から詳細な説明が行われ、次に新卒業生歓迎会について津田理事から十二月五日(日曜日)に実施したい旨の説明があつて当日の日程を終了した。

救ライ奉仕団の寄付 一口にきまる

救ライ奉仕団の寄付につきましては先般校友会本部から趣旨説明書と申込書がお手許に届いておりますが、定時総会の席上協議の結果、全員一口三百円を拠出して頂くことになりました。

なお、金額は健保報酬の六月支払分から控除させて頂くことになりましたが、すでに拠出して頂きました灘区と有馬支部は除きます。

竹中議員大蔵次官に

竹中恒夫参議院議員は佐藤改造内閣で大蔵政務次官に就任した。これで氏の政治生命といわれる「税金」にも明るい見通しがたつものと思われ、池田派からでた鈴木善幸厚生大臣と共に懸案の医療行政に一石を投じるものと期待されている。

飯塚理事長叙勲

飯塚淳一郎理事長(七七才)は今回歯学向上に寄与した業績によって生存者叙勲では最高の勲三等旭日中綬章が授与された。

第一回

常任理事会開く

本年度第一回常任理事会は五月三十一日(月曜)午後七時半から兵庫会館で開かれた。

奥野会長から本校福地教授が六月十八日に外遊すること、また小野寅之助教授の停年退職に伴い名誉教授の称号授与、白数新学長就任、飯塚理事長の叙勲など三慶事を祝して七月十二日、本部で祝賀会が開かれることなどを報告、続いて交歓旅行会の詳細を尼崎分会が報告した。また年々参加者の増加する交歓旅行会は輸送、目的地の選定など漸次困難視されるから次年度より旅行会のあり方など意見を要するのではないかと種々協議された。

兵庫本会役員

校友会からの兵庫本会役員はつぎの通り決定した。

会 長	奥野 半蔵(尼崎 専6)
副 会 長	飯田 敏夫(東灘 専11)
専務理事	村井 俊郎(生田 専25)
常務理事	津島 大麓(兵庫 専20)
理 事	鹿島 弘(灘 専25)
理 事	永津 良三(生田 専19)
理 事	湊 信一(明石 専18)
理 事	山本 武夫(姫路 専17)
理 事	若林 益夫(芦屋 専16)
理 事	松本 清(尼崎 専24)
理 事	宮井 鐘三郎(須磨 専26)
理 事	山中 正敏(兵庫 大1)
理 事	前田 利金(暮合 専14)

大浦専務辞任などを報告

続いて大浦専務の辞任を磯島理事から、奥野会長の専務として過去八年間兵庫のために貢献し、現在の兵庫にまで育成した大浦専務は政治的な観点の相違と職務上からの疲労が重なり今度辞任することになった。

会長としても腹心との別れに悲しき一杯だろうが、いづれにしても将来医政にたづさわる人間である。

後任には村井常務の昇格が決定した。また日歯では兵庫の分裂を憶測、いろんな噂をばしているが、校友会も兵庫もご存知の通り平穩無事、これまでと変わらない所はない」と報告した。

昭和38年度大阪歯科大学兵庫県校友会歳入歳出決算書

総 収 入 高 857,041円也
 総 支 出 高 842,513円也
 差 引 剩 余 金 14,528円也

内 訳

款	項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
第1款 会 費	第一項 会 費	1,395,000	1,332,000	63,000	△印減 1,800円×775名
	第二項 雑 収 入	1,395,000	1,332,000	63,000	
	第三項 利 子	85,500	81,000	4,500	
第2款 雑 収 入	第一項 利 子	7,000	6,100	1,000	△印減 1,000×0.1×775
	第二項 寄 付 金	1,000	1,000	0	
	第三項 本部手数料	77,500	74,000	3,500	
第3款 繰 越 金	第一項 繰 越 金	10,000	1,000	9,000	△印減
	合 計	1,490,500	1,414,000	76,500	

昭和40年度大阪歯科大学兵庫県校友会歳入歳出予算案

総 収 入 高 1,490,500円也
 総 支 出 高 1,490,500円也

内 訳

款	項 目	本年度決算	本年度予算	増 減	備 考
第1款 会 費	第一項 会 費	743,000	730,000	13,000	△印減
	第二項 雑 収 入	743,000	730,000	13,000	
	第三項 利 子	102,478	78,000	24,478	
第2款 雑 収 入	第一項 利 子	8,178	4,000	4,178	△印減
	第二項 寄 付 金	20,000	1,000	19,000	
	第三項 本部手数料	74,300	73,000	1,300	
第3款 繰 越 金	第一項 繰 越 金	11,563	1,000	10,563	△印減
	合 計	11,563	1,000	10,563	
合 計	第一項 繰 越 金	857,041	809,000	48,041	△印減
	合 計	857,041	809,000	48,041	

大阪歯科大学兵庫県校友会

支 出 の 部

款	項 目	本年度予算	前年度予算	増 減	備 考
第1款 事 務 費	第一項 事 務 費	333,000	303,000	30,000	△印減 事務用品等
	第二項 旅 費	60,000	60,000	0	
	第三項 通信印刷費	100,000	100,000	0	
	第四項 通信印刷費	150,000	120,000	30,000	
	第五項 雑 費	150,000	8,000	142,000	
第2款 会 議 費	第一項 会 議 費	15,000	15,000	0	△印減 会報編集発行 新卒歓迎会、旅行会等
	第二項 学 術 費	150,000	150,000	0	
	第三項 広報宣伝費	150,000	150,000	0	
	第四項 福祉厚生費	940,000	810,000	130,000	
	第五項 渉 外 費	60,000	60,000	0	
第3款 事 業 費	第一項 学 術 費	60,000	60,000	0	△印減
	第二項 広報宣伝費	70,000	70,000	0	
	第三項 福祉厚生費	560,000	460,000	100,000	
	第四項 表彰褒賞費	100,000	100,000	0	
	第五項 渉 外 費	150,000	120,000	30,000	
第4款 子 備 費	第一項 子 備 費	67,500	151,000	△ 83,500	△印減
	合 計	1,490,500	1,414,000	76,500	

自然増は子備費へ繰入れ

支 出 の 部

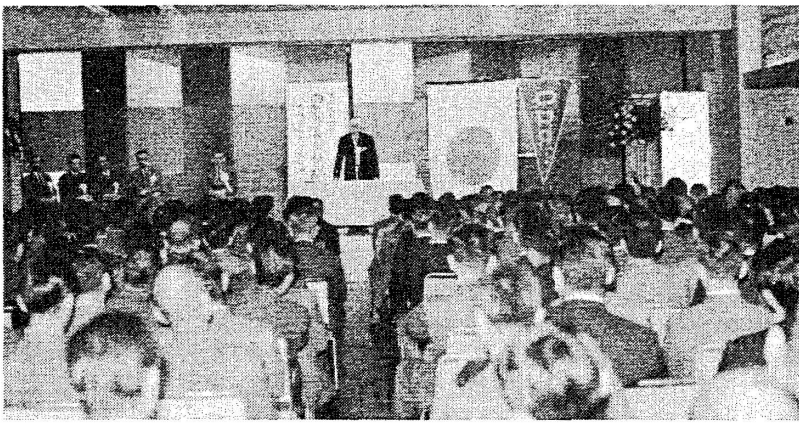
款	項 目	本年度決算	本年度予算	増 減	備 考
第1款 事 務 費	第一項 事 務 費	234,298	207,000	27,298	△印減
	第二項 旅 費	26,000	30,000	△ 4,000	
	第三項 通信印刷費	40,840	50,000	△ 9,160	
	第四項 通信印刷費	153,550	110,000	43,550	
	第五項 雑 費	6,793	7,000	△ 207	
第2款 会 議 費	第一項 会 議 費	7,115	10,000	△ 2,885	△印減
	第二項 学 術 費	60,165	70,000	△ 9,835	
	第三項 広報宣伝費	60,165	70,000	△ 9,835	
	第四項 福祉厚生費	548,050	490,000	58,050	
	第五項 渉 外 費	27,000	30,000	△ 3,000	
第3款 事 業 費	第一項 学 術 費	27,000	30,000	△ 3,000	△印減
	第二項 広報宣伝費	70,660	50,000	20,660	
	第三項 福祉厚生費	289,890	270,000	19,890	
	第四項 表彰褒賞費	67,500	70,000	△ 2,500	
	第五項 渉 外 費	93,300	70,000	23,300	
第4款 子 備 費	第一項 子 備 費	42,000	42,000	0	△印減
	合 計	842,513	809,000	33,513	

学長就任祝賀会開く

終始「白数スマイル」

四月十八日(日)午後二時からニューポートホテル(神戸)で、白数学長就任祝賀会が開かれた。

この日、大歯開校六十一年で始めて校友からでた新学長を迎えんと県下各地から校友三百余名が詰めかけ、さしもの大宴(会場風景)



会場も超満員の盛況、加うるに近府県歯会長、大学からの来賓、在神各大学支部長が錦上添花をそえ、新学長は終始「白数スマイル」で応じていた。

会はず大浦理事の司会、内田県校友会副会長の開会のことは始まり、司会者から大歯六回卒業なが年にわたって本校に奉職、口解教室からは百四十名にわたる学位受領者をだした新学長の業績をたたえ、ついで兵庫県在住の各大学支部長、近北地区会長、大学の柳生教授(総務部長)、坂教授(病院長)、矢尾教授(図書館長)、新田教授(枚方分校主事)、白山教授、村中事務局長の来賓を懇切に紹介、続いて奥野会長が「開校六十年、六代目の新学長を大歯校友から迎えたことは誠に意義深い。新学長は星霜正に還歴、卓抜な識見をもった明哲の士である。

以前私は新学長から「竹林の七賢」の軸を頂戴したが、難解で困ったそれが自由を尊ぶという義であることを知って私は彼の底知れぬ深さに驚愕したものだ。われわれ校友は暖い助言者として学長を支援せねばならぬ」とあいさつした。

ついで柳生教授が「本日の時宣を得た企画に感謝の気持ちで一杯、祝辞よりもお礼をい、たい。ここに母校出身の学長を迎え、母校出身

者が中核となり、母校出身者の協力を得て、天下の大歯に育成せねばならない。」とあいさつがあった。

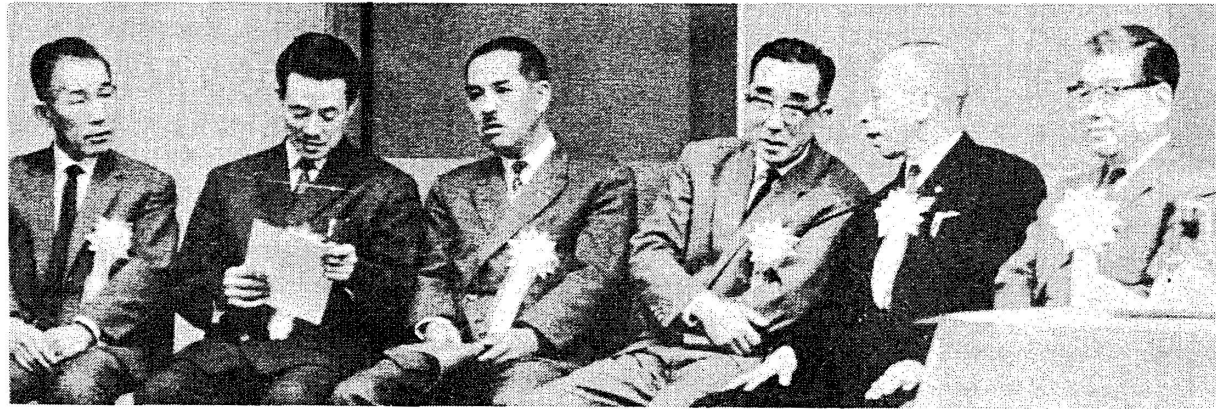
続いて近北地区の会長、大阪、可児、奈良、野坂、滋賀、井田、京都、北川、和歌山、小沢の各会長を代表して、滋賀の井田会長が祝辞を述べ、大歯校友会可児副会長が「同窓白数」を浮きぼりしたユーマラスな祝辞があった。ついで県下在住各大学支部長を代表して日歯須貝支部長が祝辞を述べ、ついで大歯の「トップレディ」学長夫人が紹介され、萬雷の拍手を浴びた。

白数学長は「故吉崎学長のあとをうけ、学長に就任したが、今日ほど友情に深い感銘を憶えたことはない。偉大な先輩、かけがえのない同僚をもった私は日本一の幸せ者です。大学は秀才を作る所ではない。学生、父兄には常に暖い気持で接したい。また教職員が学校を表すものであるから理論より愛情が大切である。今後の支援をお願いする」とあいさつがあった。

続いて奥野会長から新学長に記念品が授与され、藤間社中による日本舞踊「鶴亀」が花をそえた。

ついで全員校歌を合唱、名田副会長の閉会のことはで式典は終了した。続く祝宴は磯島理事の司会で山下副会長によって立食パーティが開かれた。

各テーブルにはつきつきとマイクが廻され、新学長に対する祝辞が続々とび出した。兵庫県校友会の力強い結束は今後の学長の施策に明るい響きをのせて鳴り渡ることであろう。

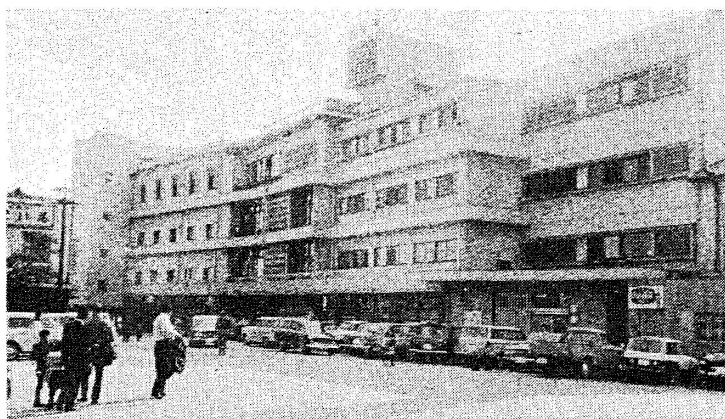


右より白数、奥野、柳生、井田、可児、須見の各氏

「三河三谷」へのお誘い 交歓旅行会

第十一回大歯兵庫県校友会交歓旅行会は、すでに会員諸兄のお手許に案内状を発送しておりますが、尼崎分会の当番で、七月十日(土)、十一日(日)三河三谷温泉「松風園」と決定いたしました。が、参加することに意義がある。のたどおり、一人でも多くの会員、ご家族に参加していただき、大盛会を期すために

(松風園前景)



今一度詳細にお知らせしたいと思っております。前号ですでご紹介しましたごとく、三河三谷温泉は蒲郡に隣接し、前に緑の山を、背に黒潮おどる太平洋を受け、四季それぞれの情緒豊かな理想郷であり、また附近には、豊川稲荷、竹島、三ヶ根山、新箱根ドライブウェイ等名所も数多く、時間的にも比較的早く、一人旅も、家族連れの団樂もまたよし。

今回の交歓旅行の特徴は、バスによる団体行動でありましょう。ご存知のとおり、七月十日ともなれば暑さ殊に厳しく旅の気分もそこないが、二の足をふむ気持ちにもなりかねないが、会員諸兄、ご家族に涼しい、楽しい、安樂な旅をしていただくために、冷房付高速デラックバスをチャーターしております。殊に今回は乗換えのわづらわしさをはぶくため、北部及び淡路の諸兄には申し訳ございませんが、神戸以西にもバスを廻送し、姫路、加古川、明石からそのまま、乗車でさるよういたしました。またバス内には冷たい飲物も用意しております。たゞ途中これらの飲物、中食を積み込むため、尼崎歯科医師会館に立寄らせていただきますことをご了承下さい。

三谷温泉は前述しましたとおり、名所も多く観光にも適しておりますが、この他、三河湾内の魚釣もなかなか味がありません。海岸線は波静かな遠浅さで、お子様にも

危険なく遊んでいたゞけると存じます。また当日にはアトラクション、ラッキーカードや記念品も用意しておりますので多数ご参加下さいまして、この交歓旅行会を盛大に、かつ、成功裏に終わらせていたゞきたいと思ひ、とりとめもないご案内を終わらせていただきます。(岡田)

まだお申込のない方はできるだけ早く校友会庶務小坂(八六、一八八)までご連絡下さい。

往復のバスは締切っておりますから、自家用車、新幹線をご利用願うかも知れません。

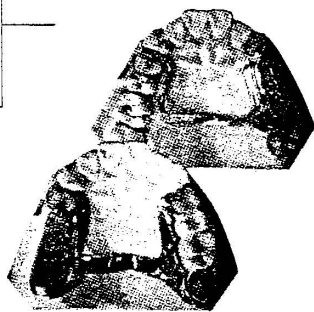
(松風園背景)



ホワイト鑄造床 コバルトクロム合金

ホワイト圧印床 188 鋼

及び特殊技工



御一報次第阪神明間参上
致します
製作期間 4日

三原齒研工業株式会社

神戸市灘区八幡町2丁目42

TEL (85) 2177